

経営戦略論Ⅱ

科目ナンバリング MAN-204
選択 2単位

大野 貴司

1. 授業の概要(ねらい)

経営戦略とは、手短かに言えば企業が目標を達成するための一連の計画のことである。本講義では、学問として経営戦略を取り扱う経営戦略論について教授する。具体的には、経営戦略論Ⅰ同様、経営戦略論の代表的な理論、フレームワークとその応用方法について取り扱う予定である。これに加え、本講義では、戦略が組織という場で形成・実行される事実を踏まえ、組織を視野に入れた戦略理論、組織が存続成長するため自らを取り巻く外部環境と調和や制御を図ることに主眼を置いているマクロ組織的アプローチを採用している戦略理論も取り扱う予定である。

2. 授業の到達目標

- ・経営戦略とは何か、自分の言葉で説明できるようになること。
- ・経営戦略論の基礎的な理論の習得。
- ・経営戦略論のフレームワークを活用しながら実際の企業の経営戦略について説明できるようになること。
- ・経営組織論の視点から企業の経営戦略を捉えられるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

- ・期末試験 50点
- ・小レポート 30点(1回10点×3回実施)
- ・講義内課題 20点(大幅な遅刻、長時間の離席者は受験しても加点しない、スマホいじり、内職など態度の悪い者はここから減点する)

60点以上を合格とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定しない。

参考文献

山倉健嗣 組織間関係 有斐閣

大野貴司 人間性重視の経営戦略論—経営性と人間性の統合を可能とする戦略理論の構築にむけて— ふくろう出版

5. 準備学習の内容

準備学習: 毎回講義の最後に、次回の講義のキーワードを紹介するので、自分でキーワードを調べ、その内容をまとめ、分からなかった部分について明らかにした上で講義に臨むこと。
事後学習: 講義で取り扱った理論について関連する書籍を読み、理解を深めるだけでなく、それにあてはまる事例を探し、理論を使いながら分析をしてみる。

6. その他履修上の注意事項

- ・過去の講義資料、レポートテーマはDropboxにアップする。Dropboxへのアクセスの仕方については初回講義で説明する。
- ・私語、途中入退室など他の受講者の迷惑になる行為は慎むこと。私語、遅刻、居眠り、内職、スマホいじりなど受講意欲が感じられない学生については減点する。
- ・試験は、講義中配布するレポート用紙(配布時欠席した受講者はDropboxより入手可能)、Dropboxにアップした課題用紙のみ持ち込み可能とする。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、戦略と組織
- 【第2回】 新事業創造
- 【第3回】 企業の国際化戦略
- 【第4回】 多角化戦略
- 【第5回】 後発参入戦略
- 【第6回】 模倣戦略
- 【第7回】 戦略形成における経営者の役割
- 【第8回】 組織文化と経営戦略
- 【第9回】 組織構造と戦略
- 【第10回】 ダイナミック・ケイパビリティ(動的能力)
- 【第11回】 垂直統合
- 【第12回】 戦略提携
- 【第13回】 M&A
- 【第14回】 オープンイノベーション
- 【第15回】 まとめ